

# 薬剤部

## 当科は トレーシングレポート、お薬手帳そして薬剤師外来を活用して薬薬連携の推進を行っています

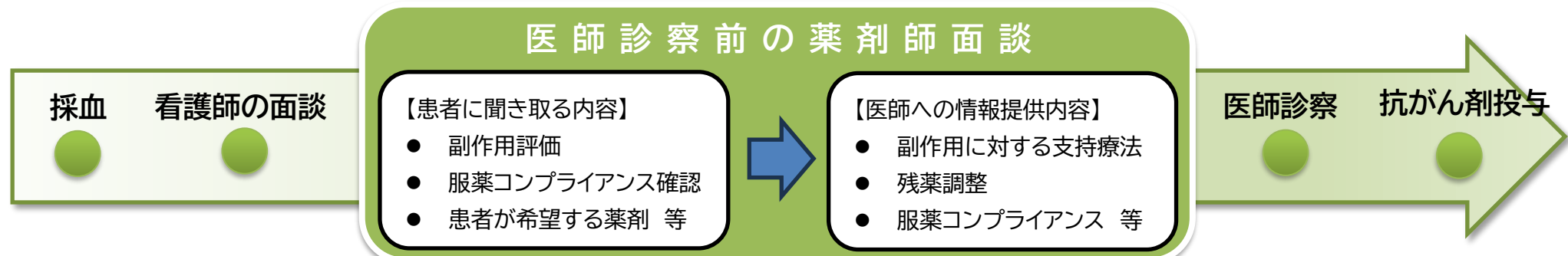
病院完結型から地域完結型医療へ移行している現在の医療形態において、病院薬剤師と保険薬局薬剤師とのシームレスな情報共有がこれまで以上に必要であると考えます。

そういった中で、大森赤十字病院 薬剤部が近年注力している「外来におけるがん患者に対する薬剤師の関わり」についてご紹介いたします。

### がん領域での薬薬連携

患者に関わる医療スタッフが、がん薬物治療の情報を共有することは重要です。そこで、病院薬剤師が知り得た情報をかかりつけ薬局・薬剤師等と共有することを目的に、様々なツールを活用して連携を取っています。

#### 薬剤師による”医師診察前”の面談



#### 【期待される効果】

- 副作用等情報や処方提案等について、「医師の診察前」に共有することで円滑に当日の処方に反映させることができる。
- 医師の診察にかかる時間を短縮できる。

#### 【2025年度実績】

- 抗がん剤施行予定件数 1297件
- 医師診察前の薬剤師面談回数 776件(面談割合 60%)
- 提案件数 867件(採択割合 94%)

#### 症例 びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫 R-CHOP

女性、若年の方。2 コース目 Day7 ごろまで嘔気・嘔吐を認めた。嘔気においてはCTCAE Grade3であったと評価した。メトクロプラミド錠 5mg を服用するも効果不十分であったことを聴取。3 コース目の医師診察前の面談時、嘔気・嘔吐の状況を確認した上で、アプレピタントカプセル(125-80-80mg)の追加を提案し処方となったが、4 コース目の医師診察前面談で、アプレピタントカプセルの効果不十分を把握したことから、アプレピタントカプセルではなく、アロカリス点滴静注 235mg へ切り替えとグラニセトン点滴バッグ 3mg からパロノセロン点滴静注バッグ 0.75mg への切り替え、そしてオランザピン 5mg 1×夕食後 6 日間の新規追加を提案しそれぞれ受諾となった。5 コース目開始の医師診察前の面談にて、嘔気・嘔吐が軽減(Grade2)されたことを聴取。同内容で5 コース目投与を主治医へ推奨した。その後、予定通り 6 コース投与まで本レジメンの投与が完遂できた。

#### トレーシングレポート(がん専用)



地域保険薬局の薬剤師と共同で作成したがん種別のトレーシングレポートです。病院薬剤師が必要事項を記載・印刷をし、患者を経由して保険薬局薬剤師に届く仕組みです。患者より受け取った保険薬局薬剤師の先生方は、副作用状況や病院側への報告事項等を記載してFAXで送信してください。受け取った内容を確認し必要に応じて医師と病院薬剤師が情報共有をしています。なお、地域の保険薬局と定期開催している「けもくろす座談会」にてトレーシングレポートを改訂しており、より効果的なものに改善をはかっています。

#### レジメンスケジュールシール

CAPOX					
治療スケジュール: 1コース 3週間					
薬剤名	投与量	効能	投与経路	投与時間	1日目
アロカリス注 +オキサリアタン注 +生理食塩液	0.75mg 6.6mg 100mL	制吐薬	点滴	15分	○
オキサリアタン注 +5%ブドウ糖液	130mg/m <sup>2</sup> 250mL	治療薬	点滴	120分	○
生理食塩液	50mL		点滴	5分	○

治療薬のカベシタピン (先発名: セローダ 2000mg/m<sup>2</sup>/日) を1日目タ〜15日目朝に内服します  
大森赤十字病院 薬剤部

レジメンスケジュールを保険薬局薬剤師の先生方が把握することを目的に、病院薬剤師がレジメン開始時やレジメン変更時にお薬手帳に貼付しています。投与量や投与間隔、休薬期間等が分かるよう表にしています。

#### ホームページ レジメン情報公開



薬剤部ホームページにレジメンスケジュールを掲載しております。レジメンの投与スケジュール、投与量、休薬期間、制吐剤などがいつでも閲覧可能です。

#### <まとめ>

大森赤十字病院 薬剤部は薬薬連携に積極的に取り組んでいます。がん薬物療法をはじめ、「薬剤管理サマリー」、「お薬手帳」、「糖尿病」、「心不全」などにも関わっていきたいと考えております。

#### 薬剤部「地域連携」ページをご覧ください

